



# 府立人研だより 秋季セミナー特集号

大阪府立学校人権教育研究会事務局  
2020年8月25日 第2号発行

## 第1日 全体会

全体会

大阪私学会館 301～303 会議室

### 部落問題と日本の恋愛・結婚

9/18  
(金)

講師：齋藤 直子さん（大阪市立大学 人権問題研究センター 特任准教授）

14:00

17:00



「ここは昔、差別されていたところだよ」。この数年、大学生に部落問題の認知経路について質問をしたとき、親からこのように教えてもらったと答える学生が少なくありません。その一方、小学校・中学校で、江戸時代の身分制度や大正期の水平社運動について、比較的しっかりと学んでいます。しかし、学校で学んだことと現実の部落問題とがリンクしないのです。

また、私は結婚差別を受けた人々の相談を受ける団体を運営しているのですが、相談に来る若い人は、相手の親に反対された人も、自分の親が反対した人も、部落問題とはどういう問題で、なぜ反対されているのかということ、明確に理解している人が少ないのです。

このような時代において、部落問題の「実態」をどのように捉えたらいいのか、若い人にどのように伝えたらいいのかについて、結婚差別問題を中心に、参加者のみなさんと一緒に考えていく講座にしたいと思います。

### ◆会場のご案内◆

#### 大阪私学会館

(大阪府大阪市都島区網島町6-20)

- ・JR東西線「大阪城北詰」駅から西へ約200m
- ・京阪本線「京橋」駅から西へ約800m
- ・会場への車両の乗り入れは、固くお断りいたします。



### ◆参加申込について◆

府立人研 Web ページ (URL: <http://furitsuinken.in.coocan.jp/>) の専用リンクからお申し込みください。今年度は会場参加 (定員に達し次第、締め切り) に加えて、後日配信するセミナー (録画) を視聴する Web 参加も可能です。

#### 1. 申し込み期間

##### <会場参加>

2020年 8月28日 (金) 11時 ~ 9月17日 (木) 17時

※全体会・各分科会につき、校内でそれぞれ1名の参加でお願いいたします。

##### <Web参加>

全体会 2020年 9月18日 (金) 11時 ~ 12月15日 (火) 16時

分科会 2020年 10月 2日 (金) 11時 ~ 12月15日 (火) 16時

2. 資料代として1,000円が必要です。申し込みを確認後、所属校宛にお送りする請求書に記載の振込先にお支払いください。

詳細は別紙【開催要項】をご確認ください。

### ◆お願い◆

会場参加の方は名札をお持ちください。また、マスクの着用をお願いいたします。当日体調不良 (発熱、風邪症状) の方は参加をお控えください。



## 第2日 分科会

### 第1セミナー（進路保障部会）

大阪私学会館 401 会議室

### そもそも「進路を保障する」とはどのようなことか？

～進路指導との違い～

講師：徳永 信一さん（滋賀県立湖南農業高等学校）

10/2  
(金)

14:00

17:00



昨年度の進路保障部会総括では「教職員の世代交代が急速に進む今日にあって、同和教育・人権教育の総和である『進路保障』の継承は看過できない課題であること」と、「児童・生徒自らが生き方を展望し、行動に移す力を高めるキャリア教育を問い、進路を決定する力をつける教育実践を共有することの重要性」が指摘されています。

遡れば、そもそも同和教育の取り組みには、“しんどい”背景をかかえる生徒の「自己実現」を支援するという軸と同時に、その“しんどさ”を生んでいる社会的原因を取り除き、全ての人間の人権が守られ、誰もが生き生きと生活できる「社会実現」に向けての動機付けとスキルの提供という軸があります。

これまで滋賀県で同和教育・人権教育に熱心に取り組んでこられた徳永信一さんは、進路保障を「個人としての職業キャリア」という観点だけではなく、自らの「社会人としての生き方」をどう築いていくかという範囲まで含めた概念としてとらえて実践されており、これはまさに同和教育の2つの軸をふまえたものです。徳永さんからお話を聞くことで、「同和教育・人権教育の総和としての『進路保障』とは何か」について、再度深く学んでいく機会とします。

### 第2セミナー（情報と人権チーム）

大阪私学会館 307 会議室

### これでいいのか 新しい学びのかたち

～オンライン授業のええとこ・あかんとこ～

報告：府立人研「情報と人権」チーム

10/2  
(金)

14:00

17:00



新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に、府立学校は2か月余りに及ぶ臨時休校や分散登校を余儀なくされました。この期間、各校ではオンライン授業の導入やそれに関わる準備に試行錯誤を繰り返してこられたことと思います。そうしてさまざまなかたちで生徒の「学習保障」に取り組んでこられたのではないのでしょうか。

オンライン授業は生徒の学びのスタイルをどのように変えていくのか？

オンライン授業の導入で“取り残される”生徒はどれくらいいるのか？

オンライン授業の中で配慮しなければならないことはどのようなことか？

これまでに新しく取り組みをおこなった府立学校の報告を聞きながら、みなさんで「新しい学びのかたち」と「守っていききたい学びのかたち」について考えていきます。



## 今日からできる生徒へのアプローチと支援

～通級の取り組みからの学び～

10/2  
(金)

報 告：大手前高等学校、府立人研「障がい者教育」チーム

14:00

17:00



府立高校で通級指導が始まってから2年半がたちました。今回のセミナーでは、大手前高校と柴島高校で通級を担当された先生方に、その取り組みについて報告していただきます。

生徒自身が自らの課題をどのように認識し、どのように向き合い、どのような過程を経てそれを解決していったのか。そして、通級での学びを通して生徒自身がどのように自己肯定感を高め、進路実現をしていったのか。生徒と教員との具体的なエピソードを中心に話していただきます。

生徒への支援の必要性を認識しつつも、果たしてどのようにアプローチしたら良いのか、どのような支援の方法があるのか、何を目標にしていけばいいのか、私たちに悩みは尽きません。通級の取り組みから、日々の生徒との接し方や、支援の方法についてのたくさんのヒントを得る機会として企画しました。

## 第4セミナー（多文化教育チーム）

## 一人ひとりが差別を許さないという意識を持つ大切さ

～ブラック ライズズ マターから考える～

10/2  
(金)

報 告：柴島高等学校（NET）、四條畷高等学校、府立人研「多文化教育」チーム

14:00

17:00



2020年5月、黒人男性のジョージ＝フロイドさんが白人警察官に首を膝で押さえつけられ命を落とすという事件がアメリカで起こりました。無抵抗だったジョージ＝フロイドさんに対して、白人警察官は暴行を続け、その場にいたほかの警察官も周囲の制止を求める声を聞き入れることはありませんでした。その一連の様子が動画で配信されると、人種差別であるとして非難の声があがり、世界各地で「ブラック ライズズ マター」を訴えるデモが起きています。

「ブラック ライズズ マター」は「黒人の命は大切だ」と訳されます。人の属性に関係なく、すべての人の人権が尊重されなければならないことは当然のことです。しかし、現実の世界では今も人種差別が無くなっていません。アメリカでは過去にも白人警察官による黒人への暴行・発砲事件が幾度となく発生しています。その背景にはいったい何があるのかをこの分科会で考えていきたいと思います。「ブラック ライズズ マター」は決して遠い国の出来事ではありません。日本にもさまざまな差別が存在し、そこに住む私たちにも大きく関係しています。この問題について、みなさんで考えてみませんか？

## 府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 府立柴島高等学校内  
(通送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-mail furitsujinken@nifty.com (お問い合わせは、なるべくEメールをご利用ください。)

URL <http://furitsujinken.in.coocan.jp/>↑府立人研 HP も  
チェックしてくださいね